

第5節 斎場整備室

〔総括概要〕

栃木市斎場は、昭和29年に日ノ出町から平井町に移転した後、昭和54年に施設を改築し、現在に至っている。

斎場は、都市に必要不可欠な施設であり、その利用者である市民の生活に支障を生じないように、その機能は絶えることなく常に維持する必要がある。

本市は、市町合併による人口増加や少子高齢化による人口構造の変化等より、今後火葬件数が増加し、現在の斎場の施設規模では対応できなくなることが予想されること、また、現施設は、経年により老朽化が進んできていることなどから、斎場の再整備を行うこととした。

斎場再整備を円滑かつ積極的に推進を図るため、平成24年7月に斎場整備室を設置し、斎場再整備に係る事務を行っている。

平成24年度に斎場再整備基本構想を、平成26年度に同基本計画を策定し、これらを基に、平成27年度に岩舟地域内の南部清掃工場跡地を新斎場建設予定地として決定した。

今年度は、新斎場建設予定地の現況を把握するため、用地測量及び地質調査を実施した。また、新斎場建設に伴う周辺環境への影響の把握及び周辺環境保全のための手法を検討するため、環境影響評価及び民間活力の導入による効率的・効果的な事業手法の検討を目的としたPFI導入可能性調査を実施している。

斎場整備係

1 栃木市斎場再整備検討委員会

広く市民の意見を聴き、斎場再整備事業を進めるため、平成24年11月に設置した栃木市斎場再整備検討委員会を開催した。

(1) 開催状況

区分	開催日	主な内容
第18回	6月22日（水）	・事業スケジュールについて ・バス型霊柩車の現状と課題について
第19回	11月16日（水）	・環境影響評価の実施について（報告） ・バス型霊柩車の検討について

(2) 委員構成（計20人）

学識経験者1人、各地域会議8人、公共的団体代表者5人（自治会連合会、民生委員児童委員協議会連合会、女性団体連絡協議会、とちぎ蔵の街シニアクラブ、PTA連合会）、公募3人、市職員1人（生活環境部長）、市民活動団体1人、葬祭事業者1人

2 栃木市斎場再整備検討部会

斎場再整備検討委員会で検討する議題について、調査・検討を行うため、関係課長で構成する栃木市斎場再整備検討部会を、10月27日（木）に開催した。

3 栃木市斎場再整備作業部会

検討部会構成課の担当職員で構成する栃木市斎場再整備作業部会を、9月27日（火）に開催し、斎場再整備を進める上での課題について、調査研究を行った。

4 地元説明会等

三谷地区の住民を対象として、地元説明会を2回、先進地視察を2回実施した。

(1) 地元説明会

区 分	開催日	主な内容
第6回	8月8日（月）	・進捗状況について
第7回	12月6日（火）	・進捗状況について

(2) 先進地視察

区 分	開催日	主な内容
第1回	6月4日（土）	・栃木市斎場 ・宇都宮市斎場「悠久の丘」
第2回	11月4日（金）	・高崎市斎場 ・深谷市火葬場「深丘園」

5 業務委託

新斎場建設に向けた取り組みとして、下記業務委託を実施した。

業務委託名	内容	金額（円）	備考
地質調査業務委託	新斎場建設予定地内の地質調査及び土壌調査	5,810,400	
用地測量業務委託	新斎場建設予定地及びその周辺の測量	10,692,000	
環境影響評価業務委託	新斎場建設予定地及びその周辺における環境保全の観点から、新斎場建設に伴う周辺環境への影響についての調査・解析・予測・評価	17,820,000	H29年度事業完了予定
P F I 導入可能性調査業務委託	民間活力の導入による効率的かつ効果的な事業手法の検討を調査	5,000,400	H29年度事業完了予定